

平成29年度病虫害発生予察予報第3号（6月）

平成29年6月6日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量※
水稻	いもち病 ツマグロヨコバイ セジロウンカ ヒメトビウンカ	平年並(県下全域) <u>多(中央、西)</u> 、やや少(東、中西) 平年並(県下全域) やや少(県下全域)
かんきつ類(温州みかん)	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ カメムシ類	やや少(中央) やや少(中央) やや少(中央) <u>やや多(中央)</u> 少(中央)
かんきつ類(中晩柑類)	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ カメムシ類	<u>多(中西)</u> 、 <u>やや多(西)</u> 、やや少(東、中央) <u>多(中西)</u> 、平年並(中央)、やや少(東、西) やや少(県下全域) <u>多(中央、中西)</u> 、やや少(東、西) 平年並(中西)、少(東、中央、西)

※ () 内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部

I 気象予報（高松地方気象台 6 月 1 日発表）

＜予想される向こう 1 か月の天候＞ 6 月 3 日から 7 月 2 日

平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう 1 ヶ月の平均気温は、平年並または高い確率ともに 40％です。降水量は平年並または多い確率ともに 40％です。日照時間は平年並または少ない確率ともに 40％です。

週別の気温は 1 週目は平年並の確率 50％です。2 週目は平年並または高い確率ともに 40％です。3～4 週目は平年並または高い確率ともに 40％です。

＜向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1 ヶ月	四国地方	気温	20	40	40
		降水量	30	40	40
		日照時間	40	40	20

＜気温経過の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1 週目	四国地方	30	50	20
2 週目		20	40	40
3～4 週目		20	40	40

＜予報の対象期間＞

1 ヶ月：6 月 3 日（土）～7 月 2 日（日）

1 週目：6 月 3 日（土）～6 月 9 日（金）

2 週目：6 月 10 日（土）～6 月 16 日（金）

3～4 週目：6 月 17 日（土）～6 月 30 日（金）

II 病虫害発生予想

1 水稻の病虫害

1) いもち病（葉いもち）

発生量：平年並（県下全域）

根 拠

(1) 5 月の調査では、県中央部の 1 ほ場でわずかに確認されただけであったが、6 月の降水量は平年並または多いと予想されているため、県下全域で平年並の発生になると考えられる。

(2) BLASTAM（葉いもち発生予測システム）では 5 月 25 日に県下の広い範囲で感染好適日が確認されている（BLASTAM による葉いもち発生予測判定状況は病虫害防除所 HP を参照）。

対 策

(1) 気象や発生状況に注意し、進行型病斑を認めたら速やかに薬剤防除を行う。

(2) QoI 剤耐性菌発生を防止するため、これらの剤の使用回数は作期を通じて 1 回と

する。

(3)窒素過多は発病を助長するので、穂肥等の施用は生育状況を見ながら適切に行う。

2) ツマグロヨコバイ

発生量：多（中央部、西部）、やや少（東部、中西部）

根 拠

(1) 5月の調査では、県中央部、西部で発生が見られ、いずれの地域も発生面積は平年に比べ多めであった。

(2) 6月の気温は平年並または高めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 近年、本県における発生は見られていないが、本虫は萎縮病を媒介するので発生に注意する。また、出穂期から登熟期にかけて密度が高密度になると、実入りが悪化することがあるので注意する。

3) セジロウンカ

発生量：平年並（県下全域）

根 拠

(1) 5月の調査では発生は確認されていないが、近畿、中国、九州地方では発生が飛来が確認されており、今後、本県にも飛来すると考えられる。

対 策

(1) セジロウンカはトビイロウンカ、コブノメイガ同様、中国大陸等から飛来する害虫であるため、ほ場内での発生に注意する。多飛来があった場合には、産卵痕や吸汁により生育被害が出る可能性があるので注意する。

4) ヒメトビウンカ

発生量：やや少（県下全域）

根 拠

(1) 5月の調査では発生は確認されていないが、6月の気温は平年並または高めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

(1) 本虫による直接被害は少ないと思われるが、縞葉枯病を媒介するので発生に注意する。

2 カンキツ（温州みかん）の病虫害

1) そうか病

発生量：やや少（中央部）

根 拠

(1) 5月の調査では発生は確認されなかった。

(2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 幼木や発生の多い園地では黒点病との防除を兼ねて、予防的な薬剤散布により、春葉への感染を防ぐ。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

2) 黒点病

発生量：やや少（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では発生面積は確認されなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除から25日以上経過するか、累積雨量が250mmを超えると薬剤散布を行う。

3) かいよう病

発生量：やや少（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では発病は確認されなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 銅剤等の散布による予防に努めるとともに、発病がみられる夏秋梢は剪定、除去する。

4) ミカンハダニ

発生量：やや多（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では平年並の発生面積であった。
- (2) 6月の気温は平年並または高めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 薬剤抵抗性の回避を避けるため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

5) カメムシ類

発生量：少（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査ではほ場での発生は見られておらず、フェロモントラップへの誘殺も少ないことから越冬成虫数は少ないと考えられる。

対 策

- (1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認し

たら防除を行う。

2 カンキツ（中晩柑類）の病害虫

1) そうか病

発生量：多（中西部）、やや多（西部）、やや少（東部、中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では県中西部で平年に比べ発生面積が多かったが、西部は平年並、東部、中央部では発生が見られなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 幼木や発生の多い園地では黒点病との防除を兼ねて、予防的な薬剤散布により、春葉への感染を防ぐ。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

2) 黒点病

発生量：多（中西部）、平年並（中央部）、やや少（東部、西部）

根 拠

- (1) 5月の調査では県東部を除く地域で発生が見られた。発生面積は県中西部でやや多め、中央部、西部は少なめであった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除から25日以上経過するか、累積雨量が250mmを超えると薬剤散布を行う。

3) かいよう病

発生量：やや少（県下全域）

根 拠

- (1) 5月の調査では発生は見られなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 銅剤等の散布による予防に努めるとともに、発病がみられる夏秋梢は剪定、除去する。

4) ミカンハダニ

発生量：多（中央部、中西部）、やや少（東部、西部）

根 拠

- (1) 5月の調査では県中央部、中西部で発生が見られ、いずれの地域も平年に比べ発生面積は多かった。

(2) 6月の気温は平年並または高めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 薬剤抵抗性の回避を避けるため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

5) カメムシ類

発生量：平年並（中西部）、少（東部、中央部、西部）

根 拠

(1) 5月の調査ではほ場での発生は見られなかった。フェロモントラップへの誘殺数は県中西部で平年並、東部、中央部、西部では少ないことから、越冬成虫数は少ないと考えられる。

対 策

(1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認したら周辺作物への飛散防止に努めながら早めに防除する。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ（こうち農業ネット）

- ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③病虫害発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病虫害 etc.